

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 東リ(株) 伊丹工場

1 環境保全活動に関する方針等

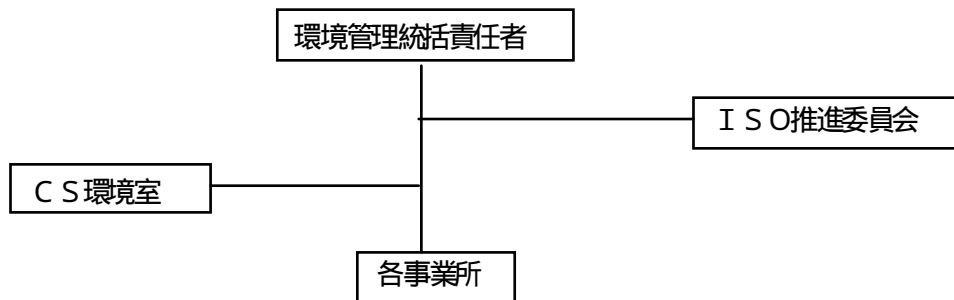
1 - 1 環境保全活動に関する方針

「インテリア事業を通じて、生活文化の向上に貢献する」という企業理念のもとに、企業活動の全てにおいて環境共生社会の実現をめざします。

1. 企業活動すべての分野で環境への負荷を低減させるため、適切な施策を実施する。
2. 地球環境保全に有効な商品開発、技術開発、システム開発、顧客サービスに積極的に取り組む。
3. 活動における省エネ・省資源・リサイクルに継続的な取組を計るとともに、地域社会と共生した環境活動を推進する。

1 - 2 環境保全活動に関する組織体制

環境管理に関する体制



環境管理統括責任者：環境マネジメントシステム（EMS）の要求事項が確立され、実施されかつ維持されることを確実にする。また、EMSの改善のための提案を含め、レビューのために、社長にEMSのパフォーマンスを報告する。

I S O 推進委員会：東リ株式会社の環境に関わる事項の見直しを審議する最高機関。

C S 環境室：EMSの維持・運用について、内部環境監査の実施・I S O 推進委員会の運営・環境教育の実施などの業務の責任と権限がある。

各事業所：EMSの維持・運用について、各事業所に1名環境管理責任者をおく。

担当部署の名称及び連絡先の明示

C S 環境室

2 環境保全活動の実施状況等

目標	取組結果	今後の取組計画
1.低炭素商品の 前年度比2%UP	全社で前年度比0.6%アップし66.9%。昨年より微増。 低炭素商品の定義付けを行った時にはなかった省エネ、軽量化などの施策を新しく低炭素商品として提議している。	・低炭素商品の品種を 2015年度までに75% 以上にする。
2.グリーン購入の実施 F S C 認証紙の使用 推進	・グリーン購入(上期: 本社 82.8%、営業 69.0%)(下期: 本社 49.5%、営業 51.4%)通期全体 3,245,927円 (通期全体 60%) F S C 認証紙使用総合カタログ及び新製品説明資料等の発刊。	・グリーン購入の実施 F S C 認証紙の使用 推進
3.省エネ 2009年度を基準として、 原単位で2010年度に 1%削減する。	・ボイラ室照明4419.6kwh(6ヶ月)の削減。	・2010年度を基準として、 原単位で2011年度に1%削減する。
4.リサイクル リサイクルシステム の実行	・I.F.A.: 2件 12.5t 実施。 ・全社リサイクル率: 78.9%	・リサイクル率を前 年度比5%UP
5.廃棄物対策 2009年度は、2000年 度ベースの5%を 2008年度より削減	・伊丹工場(前年: 448t に対して 483t。刃入れ、 架橋シート等、リサイクルできない品種の 増加の影響。 ・伊丹事業所(最終処分量: 1091t、+0.4%)	・2010年度は、2000 年度ベースの5%を 2009年度より削減 する。
6.化学物質の適正管理 製品規格、MSDS等 への記載。	・GHS対応のMSDSへの切替が数点を残し完了。	・製品規格、MSDS 等への記載。
7.エネルギー対策	・ボイラ燃料転換によりH22年度実績で933t-CO2削減	
8.地域社会への貢献	・さくら(花見)祭りの開催 ・伊丹市環境監査実施	・地域貢献活動の継 続的な実施
9.環境教育	・新入社員研修にて教育の実施 ・社内報での啓蒙 ・環境便りとして月1回の情報配信。 ・社外向け環境セミナーの実施	・環境保全に関する従 業員教育の徹底を 図る。